

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	車イス利用者が増えている状況で、どのように避難するか課題である。	防災訓練の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常階段や2階昇降を安全に降ろすための用具の検討、訓練を行う</li> <li>・職員が何分で駆けつけるか抜き打ち訓練する</li> <li>・近所協力訓練を実施する。(火災通報装置)</li> <li>・夜間想定訓練(ミニ訓練含め)</li> </ul>	1年
2	33	入居者は徐々にレベル低下してくる中、医療依存度の高い利用者をどこまで看取りをできるか整理していく。	看取りに関しての家族の意向と整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と看取りについて話し合う機会を設ける</li> <li>どこまで家族の協力が得られるか</li> <li>看取りに対する家族の意向</li> <li>医療依存度の高くなった場合はどうするか?</li> <li>・家族が遠く在住、帰る自宅のない方の支援について話あい準備。</li> </ul>	1年
3					
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。